

図表1 県の事務事業に伴う温室効果ガス排出状況（2024(令和6)年度)

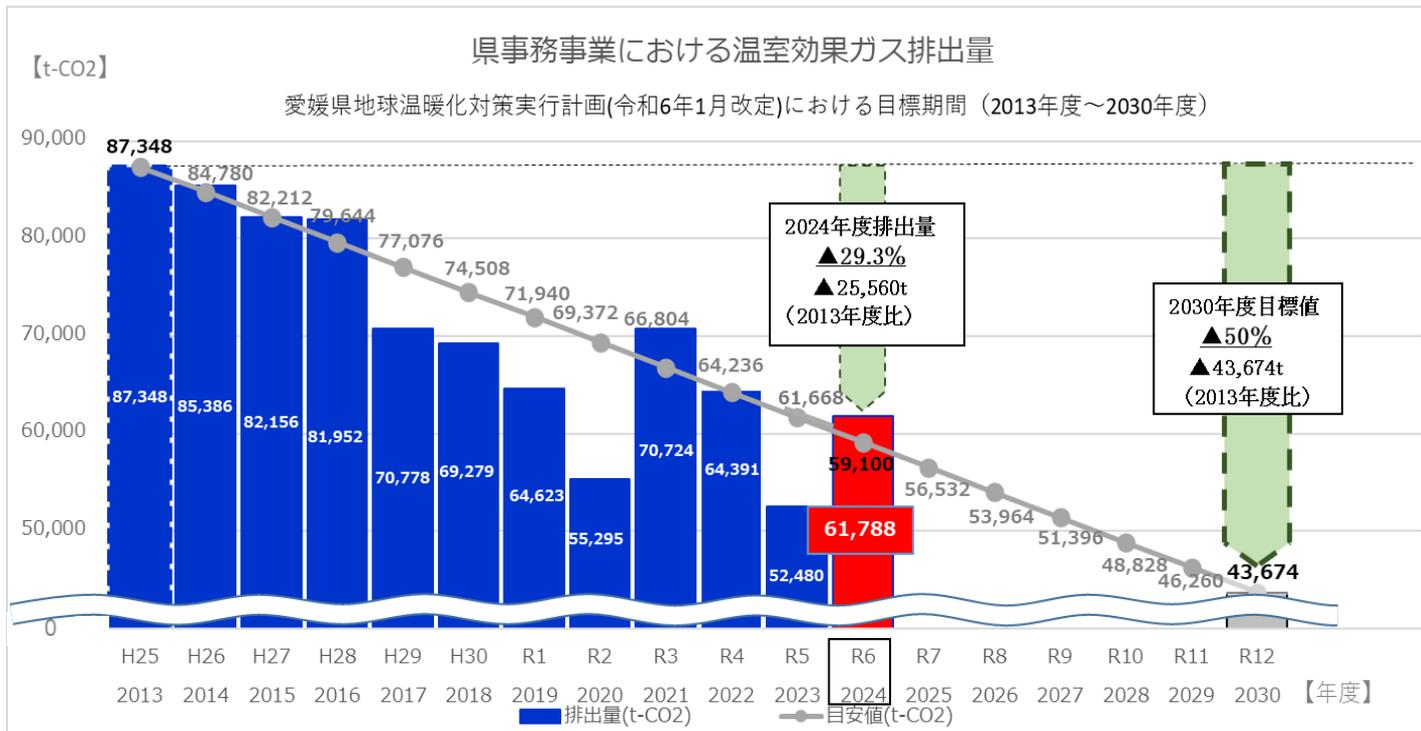
(単位：t-CO2)

機関等名	年度	2023年度		2024(令和6)年度						
	2013年度 基準年	総排出量	2013年度比 (%)	総排出量	内 訳				増減率	
					CO <sub>2</sub> (二酸化炭素)	CH <sub>4</sub> (メタン)	N <sub>2</sub> O (亜酸化窒素)	HFC (フロン)	2013年度比 (%)	前年比 (%)
知事部局	18,469	12,681	▲ 31.3	14,728	14,003	527	190	8	▲ 20.3	16.1
公営企業管理局	28,053	17,004	▲ 39.4	20,339	20,308	22	9	0	▲ 27.5	19.6
教育委員会	14,934	8,281	▲ 44.5	9,906	9,679	144	82	1	▲ 33.7	19.6
警察本部	9,927	6,154	▲ 38.0	6,895	6,818	12	55	10	▲ 30.5	12.0
指定管理施設	15,965	8,359	▲ 47.6	9,920	9,900	10	9	1	▲ 37.9	18.7
合 計	87,348	52,480	▲ 39.9	<b>61,788</b>	60,709	715	344	21	<b>▲ 29.3</b>	<b>17.7</b>

(注1) 端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

(注2) 電力使用に係るCO2排出量は、「温対法に基づく電気事業者別CO2排出係数」で計算。

図表2 県の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の推移（電力排出係数変動方式）



《参考》県の事務事業に伴う温室効果ガスの主な発生要因

温室効果ガス種別	主 な 発 生 要 因
CO <sub>2</sub> (二酸化炭素)	電気・燃料の使用
CH <sub>4</sub> (メタン)	燃料の使用、浄化槽・家畜(消化管内発酵等)・水田からの発生 病院での麻酔ガス使用
N <sub>2</sub> O (亜酸化窒素)	
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	公用車のカーエアコンの使用
PFC (パーフルオロカーボン)	(県の事務事業では該当なし [発生要因: 半導体の製造])
SF <sub>6</sub> (六ふっ化硫黄)	(排出量が極めて微量と見込まれるため算定しない) (発生要因: 受電設備の絶縁ガス漏洩)